

## 第6回 松尾・下久堅地区治水事業協議会 議事要旨

### 1. 開 会

松尾・下久堅地区治水事業協議会委員19名中、14名が出席し、協議会が成立しました。

### 2. 事務所長挨拶

### 3. 委員長挨拶

### 4. 議 事

#### (1) 第5回 松尾・下久堅地区治水事業協議会 議事要旨について

第5回の協議会の議事要旨を説明しました。

#### (2) 松尾・下久堅地区の治水対策について

松尾・下久堅地区の治水対策について説明しました。

#### (3) 松尾・下久堅地区治水事業計画について

松尾・下久堅地区治水事業計画について説明し、了承を得ました。

#### (4) 松尾・下久堅地区治水事業監理委員会（仮称）について

松尾・下久堅地区治水事業監理委員会（仮称）について説明しました。

### 5. 閉 会

## 6. 協議会で頂いた主な意見

- ・ 松尾地区一帯は工業専用地帯で、飯田市の中でも非常に重要性の高い地域である。この堤防が決壊すると三六災と同様の災害につながるため、堤防は、崩れない、絶対切れない強化策をお願いしたい。また、毛賀沢川から一体で工事をやって頂きたい。
- ・ 長野県の道路改良計画が左岸側にあるので、国土交通省と長野県が連携し道路と一体で、環境にも配慮して、できるだけ早い改善をお願いしたい。
- ・ 飯田建設事務所では道路改良計画について、地域の皆様と打合せをしている段階である。事業化に向けて、地域の皆様と一体になって取り組んでいきたい。
- ・ 水理実験を見て水位がH. W. Lのときに南原橋の直下で噴流が見られた。水位が低いときも同じような傾向が見られたが、噴流が流水を妨げることにはならないか。もし妨げるのであれば、南原橋の下の法面を少し緩やかにすればいいのではないか。
- ・ 旧南原橋の下久堅地区側に大きい岩があるが、岩が浮いて、いつ落ちるか不安である。現状はワイヤーで縛ってある状態であるが、安全対策はこの事業と関係するか。
- ・ 十数年前ころ地域住民の方から「岩が浮いていて、危ない」という情報が天竜舟下り(株)に入り、応急的にワイヤーをはった経緯がある。
- ・ 漁業組合としては、工事で瀬回を行なう時は連絡を頂きたい。瀬回しをする時は漁業組合の役員が魚をとって移動したりするが、この間は、手違いでテンリュウカジカなどが死んでしまった。鷲流峡の近辺には貴重な動植物がいるので、工事を行なうときの連絡は、徹底してほしい。また、埋め戻しするときも同様に連絡を頂きたい。
- ・ 現地の模型を見て、大変勉強になった。模型はかなり広い範囲を作っているので、今後も活用できるのではないか。今回の工事は、国土交通省、長野県が関係するので、飯田市としても協力していきたい。
- ・ 川のことを勉強したくて河川愛護モニターをやらせてもらった。協議会ではいろいろ勉強させてもらえて良かった。
- ・ 水理模型実験を見させて頂き大変勉強になった。ゆめ会議では河川の景観を大事にしていく取り組みを行なっている。鷲流峡の景観に配慮した工法を選定したということで、大変ありがたいと思っている。
- ・ 飯田市では平成12年より内水排除対策に取り組んでおり、ポンプ車2台と常設のポンプで対応をしている。今回の事業が天竜川の水位低下につながるということで大変期待している。
- ・ かねがね松尾地区・下久堅地区の洪水について心配していた。委員の方々の検討の熱心さには感心した。最終的にいい計画ができたことを地区へ報告したい。
- ・ このすばらしい計画を見て、後世に残していかなければいけないと感じた。全国にも発信できるような護岸工事にしてほしい。計画にもあるように工事が終わってから、10年とか20年たってどうなのかという、長いスパンで見てみる必要もある。

- ・ 川路・龍江・竜丘の治水事業のときに、模型を見る機会がなく地元で紛糾した経過を覚えている。今回、日本最大級の水理模型実験を3回通して見させて頂いた。説得力があり、効果があることも理解できた。地元の方々に理解して頂くには、このような実験をみてもらうことが一番いいと思う。ゴミや桜、道路改良計画も考慮してこの計画ができていますので、ぜひ進めて頂きたい。
- ・ 今回の検討手法以上の知見が出てきた場合には、また原点に戻って、検討に組み入れてほしい。今回の検討に参加できたことに満足している。
- ・ 昔、鷺流峡にバイパストンネルを掘ればいいという話があった。今回の検討に参加させてもらい、いろいろな意見を聞くことができた。最終的には地区の皆様がどんな洪水が起きても安心して暮らしていけることが一番大事だと思う。なるべく早く計画を実行に移して、安心して住める地区にしてほしい。
- ・ 三六災の後、松尾地区の堤防で囲まれたところが工業専用地域、準工業地域として開発された。堤防が決壊したらこれらの地域が被害を受けるので、ぜひ飯田市の立場で積極的に、安全な場所にしていく施策を選択して頂きたい。
- ・ 今まで松尾地区と格差が大きいと思っていたが、これで下久堅地区も良くなると希望が持てた。堤防も盛土を行い4,000m<sup>3</sup>/sにも耐えることが実験でわかった。ぜひ、早めの実現するようにお願いしたい。
- ・ 本日はいい勉強をさせて頂いた。国土交通省や長野県が事業化に向けて動いていることを地元の人たちに説明したい。私は松尾地区に住んでおり、三六災害、五八の災害等で水害に遭っている。早く予算をつけて事業を進めていただきたい。
- ・ 先ほどから飯田市と長野県、国土交通省が連携して事業を進めてほしいという意見があったが、非常に大切なことだと思っている。さまざまな機会を通じてよく連絡調整をして地域の要望に応えていきたい。
- ・ 狭窄部の鷺流峡対策として、当初、バイパストンネルという案もあったが、治水検討委員会の検討により、あまり大きな変更を行わずに、目的が達せられるということになった。鷺流峡の変更は入り口のところを少し掘削する程度にとどまり、松尾地区、下久堅地区には堤防を整備、下流地区へは土砂量が少なくなる、という優れた計画を作れた。
- ・ 河川の景観は、長い年月で見ると変わるものであるが、今回、手を加えるところも、時を経て自然に溶け込むことを期待している。後の人に「あれで良かったな」と思ってもらえるといい。
- ・ 天竜川はところどころに狭窄部があり、その前後が氾濫原になっている。それが天竜川の特徴的な景観になっているが、災害になるといろいろな問題が起こってくる。今まで、川と共存しながら地域の方々がいろいろ工夫しながら生活されて来たのだと思う。

- ・ 鷺流峡の通水能力を上げ、上流の水位を下げるという計画を検討してきたが、現状の良好な景観や環境を失わずに通水能力を上げることができる計画になったと思う。今後、大過なく工事が進められ、天竜川の洪水被害が軽減ができればよい。